

「働き方・休み方改革推進に係る広報事業」 ～シンポジウム資料～

令和2年10月27日

株式会社 米五
多田 和博

会社概要



新しい懐かしい味

創業天保2年 大本山永平寺御用達

株式会社 米五

企業名	株式会社 米五	
所在地	工場	福井県福井市春山2-15-26
	店舗	福井県福井市春山2-25-1(道を挟んで隣)
創業	米五	1668年(味噌を手掛けたのは1831年)
	設立	1954年4月
資本金	2,040万円	
代表者	代表取締役社長 多田 和博	
従業員	28名(男性8名・女性20名) うちパート・アルバイト 13名(女性13名)	
事業内容	味噌の製造販売、みそ関連商品の販売 みそカフエmisolaの運営	
経営理念	共に感じ、共に語り、共に知り、共に働き、共に成長する	

- ・2018年に新たな事業を開始し「店舗」「飲食」「体験教室」を立ち上げ、初めてのことで負荷がかかった。
- ・課題は負荷がかかったことよりも、長時間残業が常態化すること
- ・店舗18時まで営業、工場事務17時まで
～このギャップが1時間の不要な残業を生む

働き方・休み方改革の取組内容



新しい懐かしい味
創業天保2年 大本山永平寺御用達
株式会社 米五

1. 慢性的な負荷による残業増

→ 人員の補強

2. 一時的な負荷による残業増

→ 他部門からの応援(多能工化)

3. 原因不明の慢性的な残業増

→ 意識改革

(1) 残業の見える化(グラフ化)

(2) 定例社内会議での報告による意識改革

働き方・休み方改革の取組内容



新しい懐かしい味

創業天保2年 大本山永平寺御用達

株式会社 米五

休暇取得促進

(1)一斉休暇取得日の複数設定(年3~4日)

(2)特別有給休暇の設定

①誕生日休暇

②父親の育休5日間

③母子健康特別休暇5日間

(3)休暇取得の意識改革

定例社内会議での報告による意識改革

働き方・休み方改革の取組内容

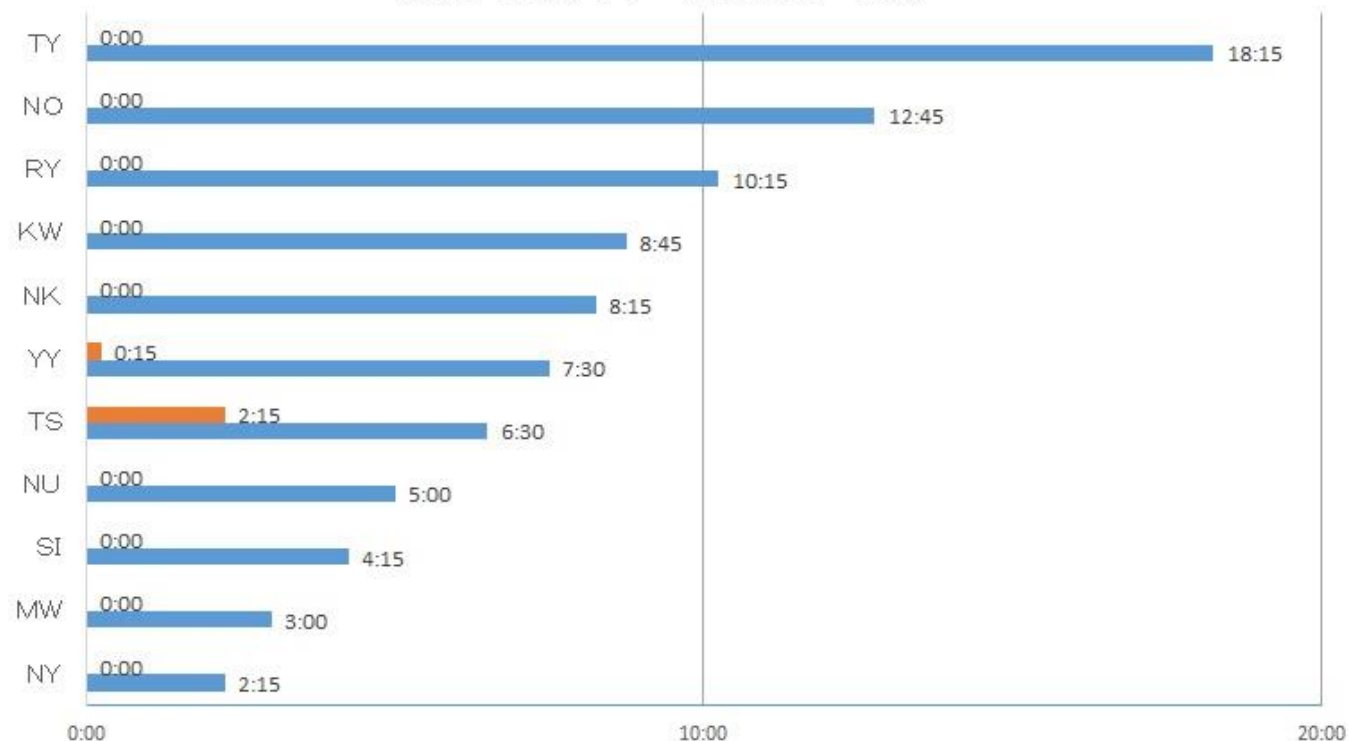


新しい懐かしい味

創業天保2年 大本山永平寺御用達

株式会社 米五

残業時間グラフ（10月6日時点）



	NY	MW	SI	NU	TS	YY	NK	KW	RY	NO	TY
■休出時間	0:00	0:00	0:00	0:00	2:15	0:15	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
■残業時間	2:15	3:00	4:15	5:00	6:30	7:30	8:15	8:45	10:15	12:45	18:15

働き方・休み方改革の取組内容



新しい懐かしい味
創業天保2年 大本山永平寺御用達
株式会社 米五

名前	取得有給	年末切捨て残	月平均時間外(8/20締め)	参考比較(昨年同時期)	削減率
SI	達成		↘ 6.6	14.6	↘ 45.2%
KW	達成		↘ 26.6	40.8	↘ 65.2%
TY	達成	9.0	↘ 21.3	45.1	↘ 47.2%
NY	達成		↘ 5.8	在職なし	
RY	達成	2.5	↘ 14.8	23.5	↘ 63.0%
NU	達成	5.5	↘ 12.6	26.5	↘ 47.5%
TS	達成	6.0	↘ 14.3	30.6	↘ 46.7%
YY	達成	3.0	↘ 17.7	31.1	↘ 56.9%
NO	達成	1.0	↘ 21.4	41.2	↘ 51.9%
MW	達成	2.0	↘ 6.6	11.4	↘ 57.9%
NK	達成		5.6	在職なし	

休暇取得と残業時間
全員年間有給5日取得達成

2020/9/16現在
↘ 先月平均より減った社員

取組による成果及び取組を進める際のポイント



新しい懐かしい味
創業天保2年 大本山永平寺御用達
株式会社 米五

- 1人当たり1か月平均残業
- 2018年上期 44.0時間
- 2019年上期 25.8時間
- 2020年上期 10.8時間

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2018	14.1	21.8	34.4	22.9	28.3	66.0	59.0	47.8	40.2	37.3	50.3	39.2
2019	30.2	45.2	42.7	27.9	25.3	31.5	15.5	22.9	31.7	29.7	34.7	25.6
2020	16.8	26.9	27.7	13.4	8.4	10.9	12.0	8.8	11.4			

取組による成果及び取組を進める際のポイント



新しい懐かしい味

創業天保2年 大本山永平寺御用達

株式会社 米五

- 数字の目標もルールとして必要とは思いますが
本質的には、仕事に対する各自の位置づけが重要
- 付加価値の高い仕事をする価値観を変えていく
- 残業に手当が出るため残業削減への評価が必要
- どのような休暇を取るのか
若い社員へのアドバイスは必要